

APTECニュースレター vol.14

平素は、APTECの事業にご支援を賜り厚く御礼申し上げます。今後もUNWTO及び観光関係各機関と連携し、持続可能な開発目標(SDGs)の達成に向けた取組を推進してまいりますので、皆様のご協力を何卒よろしくお願い申し上げます。



このたび鈴木宏子の後任として、7月1日より(一財)アジア太平洋観光交流センター事務局長に就任することとなりました。

前職では観光庁において国際関係、MICE、観光人材政策を担当しており、UNWTOの日本政府側カウンターパートとして調整等に当たっておりました。APTEC会員の皆様には、大変お世話になり感謝しております。

身に余る重責ではありますが、本財団の運営を担う者として皆様のご期待に添うべく努力して参る所存でございます。前任者同様、格別のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。まずは略儀ながら書中をもちましてご挨拶申し上げます。

おおや ちあき

(一財)アジア太平洋観光交流センター事務局長 大宅 千明



初めまして！

UNWTO駐日事務所のチームに新しく加わったマリアン・マグシーノです。

以前は、フィリピン観光省の商品・市場開発室に勤務していました。フィリピンの国内外のステークホルダーと密接に仕事をしてきましたので、観光事業の再スタートに向けて皆さんと一緒に仕事ができることを楽しみにしています。

APTECを通じてUNWTO駐日事務所へ支援いただいていることに深く感謝するとともに、近いうちに皆様にお会いできることを楽しみにしております。

(一財)アジア太平洋観光交流センター国際課長 マリアン・マグシーノ(国籍:フィリピン)

○UNWTOによるコロナ禍の観光動向調査・観光回復のシナリオについて

UNWTOは、世界観光指標(World Tourism Barometer)やダッシュボード(UNWTO TOURISM DATA DASHBOARD)等の公表を通じ、コロナ禍における観光動向の調査や、今後の見通しとして2022年の回復シナリオなどについて発信しています。

◆2022年5・7月の主要事項(世界観光指標5・7月号より)

(出所: UNWTO World Tourism Barometer Volume 20, Issue 3, May 2022)
(出所: UNWTO World Tourism Barometer Volume 20, Issue 4, July 2022)

- ・2022年1月～5月の国際観光客到着数は前年同期比で221%増の2億5000万人となり、パンデミック前の2019年の水準の約半分(46%)まで回復した。
- ・欧州は地域内の強い需要により、前年同期比で約4倍の国際観光客到着数(+350%)となり、米州では、前年同期比で国際観光客到着数が2倍以上(+112%)となった。しかし2019年比では、依然として欧州では36%、米州では40%下回った。
- ・アジア・太平洋では前年同期比で94%増となったが、いくつかの国・地域において不要な渡航に対して引き続き国境が閉鎖されたために、2019年比では90%下回った。
- ・2019年比で最も早い回復率を示したのは、カリブ海(-18%)と中央アメリカ(-27%)であり、南地中海ヨーロッパ、西ヨーロッパ、北ヨーロッパがこれに続いた。
- ・1旅行当たりの支出額が増加しており、2019年には平均1,000米ドルであったのが、2021年には1,400米ドルとなった。パンデミックによる膨大な繰越需要により、観光セクターは逆境を克服していることが観測されている。
- ・渡航に対する制限の緩和や解除をする国・地域が増加し、年を通して徐々に回復し続けることが見込まれる。UNWTOでは、最新の結果に基づき2022年の回復見通しを2019年比で55%から70%になると想定している。

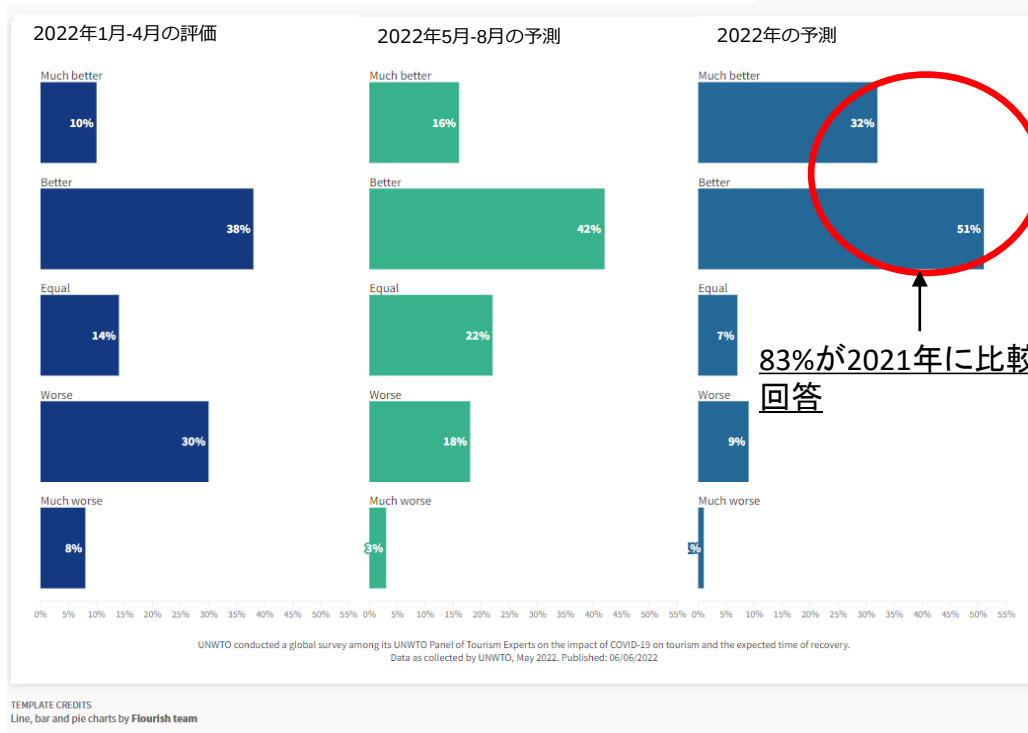
◆2022年の見通し(世界観光指標5月号より)

(出所：UNWTO World Tourism Barometer Volume 20, Issue 3, May 2022)

UNWTO専門家委員会による観光実績の評価と予測

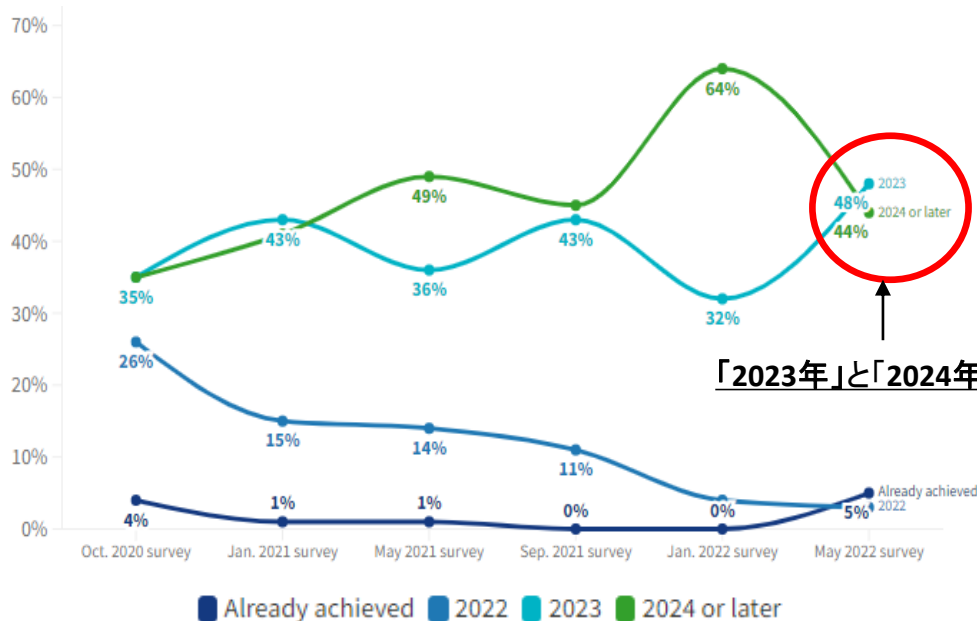
- 観光の専門家の圧倒的過半数(83%)が、ウイルスが封じ込められて、国・地域が渡航制限の緩和や解除をし続ける限り、2022年は2021年に比較して見通しが良くなると見込んでいる。
- 一方で、経済環境が国際観光の回復を妨げる主要な要因になるとも指摘されている。インフレと石油価格の上昇は、観光セクターにおいても宿泊施設と交通機関の価格につながり、購買力の低下をもたらしている。ロシア連邦によるウクライナ軍事侵攻も国際観光の回復を妨げるリスクとなっている。

UNWTO 専門家委員会による観光実績の評価と予測



83%が2021年に比較して良くなると回答

Q.あなたの国・地域の国際観光がパンデミック前の2019年の水準に戻るのはいつになると思いますか？



「2023年」と「2024年以降」が逆転！

(出所：UNWTO World Tourism Barometer Volume 20, Issue 3, January 2022)

当事務所にフルレポートもございますので、詳細の情報をご希望の方はご連絡下さい。

○観光を活用した持続可能な地域経営の手引きを作成しました

UNWTO駐日事務所では、2020年度より、観光庁、運輸総合研究所と連携した取組みとして、「観光を活用した持続可能な地域経営の手引き」を作成してまいりました。観光庁、UNWTO駐日事務所等の関係機関、有識者からなる委員会を運輸総合研究所に設置して検討し、2022年3月に完成いたしました。

本手引きは、各地域において、観光を活用した持続可能な地域経営への理解を深めるため、必要なノウハウ・スキル、実現ステップ等の実践的な取組み方を示したものです。「日本版持続可能な観光ガイドライン(JSTS-D)」(観光庁、UNWTO駐日事務所)とあわせて、ぜひご活用ください。

【主な内容】

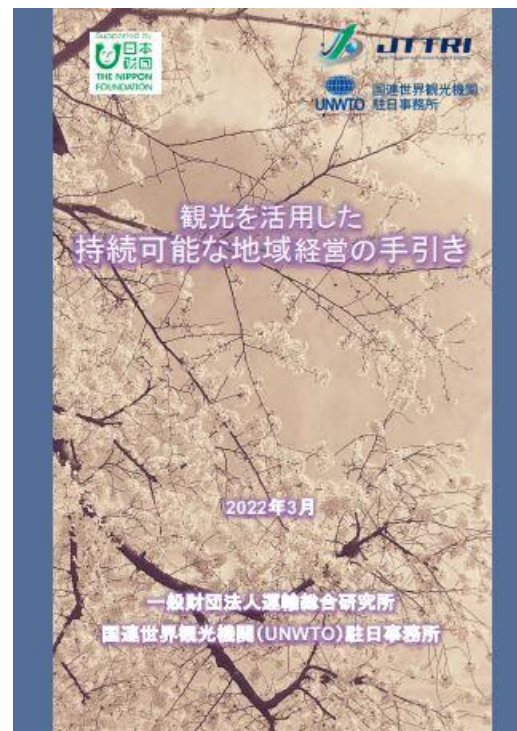
- 観光を活用した持続可能な地域経営の意義・重要性
- 観光を活用した持続可能な地域経営の取り組み方のポイント
- 観光を活用した持続可能な地域経営に取り掛かる準備
- 観光を活用した持続可能な地域経営を実現する11ステップ
 - 地域のなりたい姿と課題を明確にする
 - 解決する課題を特定し、取組、指標を具体化する
 - 指標を計測し、分析・評価し、公表、改善する
- 観光を活用した持続可能な地域経営を支える仕組み
- 先進事例

観光を活用した持続可能な地域経営の手引きURL

<https://unwto-ap.org/research/research/>



JTTRI
Japan Transport and Tourism Research Institute



「観光を活用した持続可能な地域経営の手引き」セミナー

今般、本手引きが完成しましたことから、運輸総合研究所、観光庁、UNWTO駐日事務所共催による説明会を開催いたしました。

- 主 催 : 観光庁/UNWTO駐日事務所/運輸総合研究所
主な対象: 自治体、DMO関係者、運輸局職員
日 時 : 2022年3月23日(水)、3月24日(木) 14:00~16:00
5月19日(木)、20日(金) 14:00~15:30
場 所 : 完全オンライン配信(Teamsウェビナー)



「太平洋のツーリズム・ストーリー：危機におけるレジリエンス」

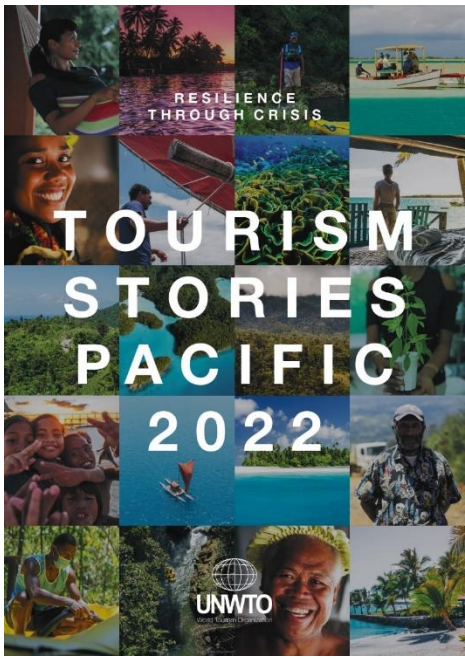
APTECは、UNWTO本部、UNWTO駐日事務所、太平洋観光機関(SPTO)と共同で2021年に「太平洋のツーリズム・ストーリー：危機におけるレジリエンス(Tourism Stories Pacific: Resilience Through Crisis)」というプロジェクトを開始しました。このプロジェクトは、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)により渡航制限が課されるなかで、特に観光への経済的な依存度が高い太平洋島嶼国(サモア、パプア・ニューギニア、パラオ、キリバス及びフィジー)の観光の最前線で働く人々や観光関係者が、危機を乗り越えていくストーリーを紹介するものです。

例えば、入国制限により外国人観光客が姿を消してしまうなかで、地域コミュニティへの貢献を続ける方法を見出した観光事業者の例を紹介しています。

彼らは、COVID-19に対応するためのビジネスモデルの変革において、伝統的なカヌーの作り方を改めて学んだり、地域住民に伝統文化を学習させたり、オーガニック栽培やゴミ処理などの環境問題に取り組むことで、より強靱で持続可能な観光を実現する策を見出しました。これらのストーリーは、環境や伝統的な文化の保護、地域コミュニティへの貢献が持続可能な観光の実現に重要であることも示しています。

同プロジェクトは、電子版書籍及び動画シリーズとして発表され、地域の人々の生の声を通じてよりストーリーを理解することができます。電子版書籍はUNWTO 電子図書館 (UNWTO E-library) から、動画シリーズはUNWTOのソーシャルメディア及びウェブサイトからも閲覧できます。(2022年中に公開予定。完成次第、ご案内させていただきます。)

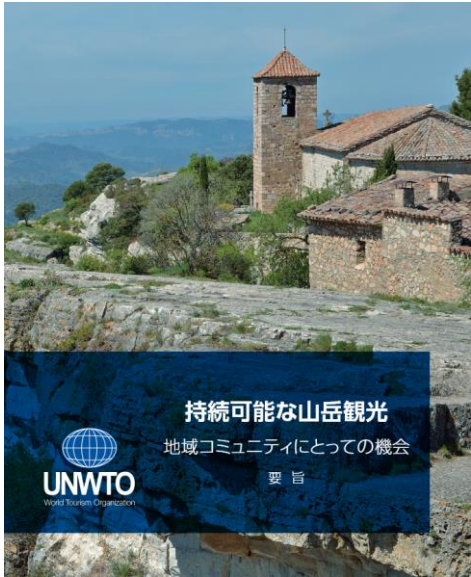
同プロジェクトが、皆様にとって、太平洋島嶼国において観光のレジリエンスに取り組む人々の声をより身近に感じ、再び太平洋の島々を旅してみたいという気持ちにさせるものとなることを願っています。



「持続可能な山岳観光
地域コミュニティにとっての機会-要旨-」（日本語版）

本レポートは、山岳観光が地域コミュニティの社会経済的成長と発展を牽引するという可能性を認識するため、山岳観光の体系的な定義を含め、UNWTOの山岳観光関連事業(「UNWTO雪と山岳観光に関する国際会議」、「欧州アジア山岳観光会議」等)において提供された情報ので概要を紹介するものです。

また、世界の様々な地域の山岳観光開発の概要と、新たな市場パターンの結果として、山岳観光に影響を与えている最近の構造的な変化について概要を説明しています。



※どちらの出版物も完成次第、ご案内させていただきます。

その他の出版物の日本語版はこちら
[UNWTO刊行物日本語版 - UNWTO \(unwto-ap.org\)](https://unwto-ap.org)

○講師派遣依頼について

UNWTO駐日事務所では、自治体や大学・高校学校等の教育機関、DMO、観光関連事業者へ、出前授業や講演に講師となる職員を派遣しています。

職員の派遣をご希望される場合は、以下の条件をご承諾の上、所定のお申込書に必要事項をご記入の上、UNWTO駐日事務所までお申込みください。

【申込書・詳細等についてはUNWTO駐日事務所webサイトをご参照下さい。(URL <https://unwto-ap.org/tutor/>)】

※職員のスケジュール等の都合により、お引き受けできない場合もございますので、あらかじめご了承ください。

対 象 : 高校生以上
人 数 : 30名程度～
講 師 : UNWTO駐日事務所 職員
言 語 : 日本語又は英語
費 用 : 交通費 実費

※宿泊を伴う場合は、宿泊費をご負担いただきます。

※講演内容につきましてはご相談に応じます。

【申込書提出及びお問い合わせ先】

メールアドレス: lec@unwto-ap.org

件名に「講演依頼」とご記入ください。

電話: 0742-30-3881 (代表)

メール確認後、当事務所担当からご連絡をさせていただきます。メール送付後、1週間経過しましても当事務所からの返信がない場合は、お手数ですが、お問い合わせをお願いいたします。

【過去の実績:2021年度(例)】

奈良県観光局MICE推進室の若手職員等に向けた講義

<https://unwto-ap.org/topics/mice9641/>

JICA課題別研修における講義 <https://unwto-ap.org/ap-topics/jica/>

名城大学における講演 <https://unwto-ap.org/ap-topics/mei2/>

北海道大学観光学高等研究センター「連続公開フォーラム」における講演 <https://unwto-ap.org/topics/cat2021/>

【過去の実績:2022年度(例)】

大阪成蹊大学における講義

<https://unwto-ap.org/topics/osakaseikeiuni/>

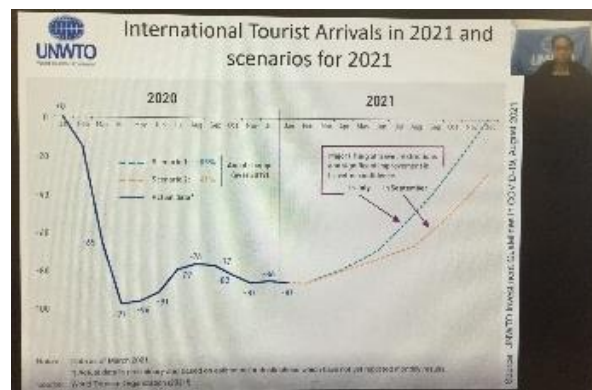
「観光とSDGs - 観光とまちの「調和」と連携を考えるセミナー」における講演 <https://aptec.or.jp/topics/ouik/>

【講演可能テーマ】

持続可能な観光に向けたUNWTOの取組と地域振興策について

《基本題目》

- UNWTO(本部)及びUNWTO駐日事務所の概要・活動紹介
- 持続可能な開発目標(SDGs)に関するUNWTOの取組
- 国際観光動向
- 持続可能な観光地域経営
- 観光と地域振興
- 国際観光の動向と新型コロナウイルス感染症に対するUNWTOの取組



○APTEC会員様限定ウェビナーアンケート

APTEC賛助会員様を限定とした第3回ウェビナーを開催いたしました(4/26)。
ご参加の皆様からいただいたアンケート結果を掲載いたします。

【第3回ウェビナー】

<概要>

- ・(株)JTB社員によるプレゼンテーション
- ・民間事業者と自治体のコラボレーション事例を紹介
- ・会員同士のネットワーキング形成を促進



第3回APTEC会員様限定 ウェビナーのご案内

民間事業者 **×** 自治体 コラボレーションは可能？

産学官金

持続可能な取組に関する
民間事業者と自治体との
コラボ ケーススタディ！

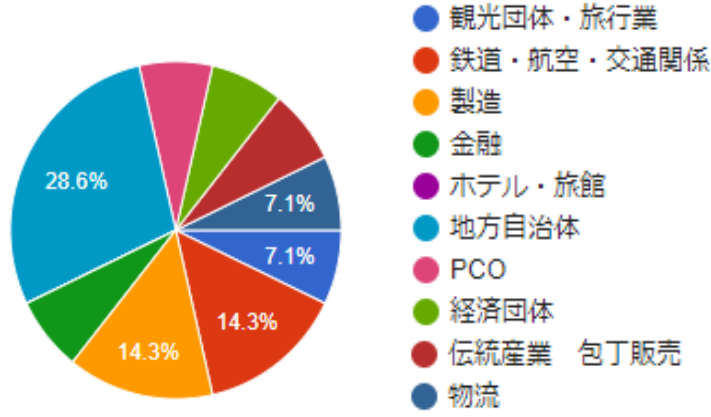
100年 元来、企業・自治体・大学・研究機関が連携し、社会課題の解決に取り組むことは、持続可能な社会の実現に不可欠です。本ウェビナーでは、民間事業者と自治体のコラボレーション事例を紹介し、持続可能な社会の実現に向けた取組を促進します。

●2022年4月26日(火)
●13:30~15:05
●オンライン(Zoom)
●参加無料(事前予約制)
●限定30名(先着順)

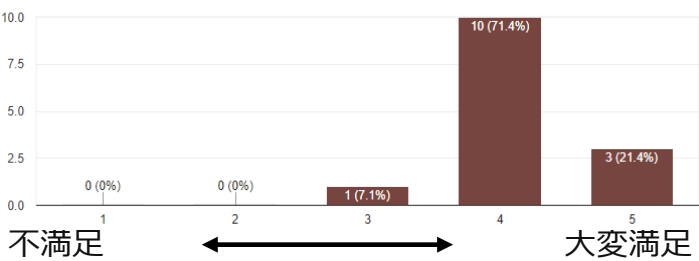
★申込締切日 2022年4月19日(火)★
★お申し込み方法★
下記URLよりお申し込みください。
<https://aptec.or.jp/aptopics/ap03>
お問合せ：メール info@unwto-ap03.org
電話 0742-30-3881 (東京/札幌)
主催：(一財)アジア太平洋観光交流センター

13:00 0300 Zoomオープン
13:30 0330 開会挨拶・説明
13:40 0340 産学官金の紹介
13:50 0350 レクチャー
14:30 0430 Q&A
14:45 0445 質疑応答・意見交換
15:00 0500 アンタ・サグ・サグ

<参加者業種> ※アンケート回答:14名



<ウェビナー満足度>

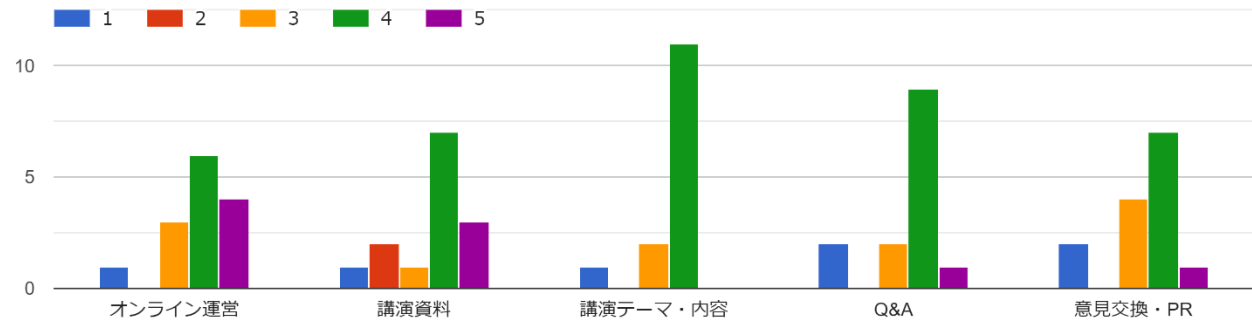


<参加者意見>

- ・ JTB様、奈良中央信用金庫様の取り組みについて非常に勉強になりました。
- ・ 県外・マッチングの効果を確認できました。
- ・ Q&Aは出づらいようでしたら、チャットで受付でもよいかもしれないと思いました。
- ・ 今後の継続を期待します。

<項目別満足度>

不満足 ← 大変満足



皆様からいただいたご意見を反映し、より良いウェビナー運営を目指して参ります。

<今後の予定>

<第4回APTEC会員様限定ウェビナー>を開催します

日 時: 令和4年8月30日(火) 13:30～15:00

場 所: オンライン開催(Zoom)

テーマ: 第7回ガストロノミーツーリズム世界フォーラム

登壇者: 奈良県観光局MICE推進室 室長 小林 悟

定員: 限定30名(先着順)

申込方法: 下記URLよりお申込みのほどお願いいたします。

URL: <https://aptec.or.jp/ap-topics/ap04>

申込締切: 8月23日(火) 17:00

参加料: 無料

8/30開催

第4回APTEC会員様
限定ウェビナーのご案内

お待たせしました！今回のテーマは
「第7回ガストロノミーツーリズム世界フォーラム」

奈良コンベンションセンターにて開催の本イベント【2022年
12月12日(月)～15日(木)】についてご説明します。
Q&Aのコーナーも設けますので、ご質問がございましたら
お答えさせていただきます。

登壇: 奈良県観光局MICE推進室
室長 小林 悟
平成9年入庁。財政課課長補佐、政策推進課課長
補佐、市町村振興課主幹(富田市長)等を経て、
令和4年4月よりMICE推進室長に就任。

●2022年8月30日(火)
●13:30～15:00
●オンライン(Zoom)
●参加無料(事前予約制)
●限定30名(先着順)

★申込締切日 2022年8月23日(火)★
＜お申込み方法＞
下記URLよりお申込み願います。
<https://aptec.or.jp/ap-topics/ap04>
お問合せ: メール info@unwto-ap.org
電話 0742-30-3881 (奈良/和泉)
主催: (一財) アジア太平洋観光交流センター

レクチャーの他、APTEC会員様同
士の交流を目的に新規会員様の
自己紹介や意見交換会も予定！

13:00	0'30"	Zoomオプン
13:30	0'10"	開場案内、観覧説明
13:35	0'05"	開場挨拶
13:40	0'10"	新幹会館様口へ案内
13:50	0'30"	レクチャー
14:20	0'20"	Q & A
14:40	0'15"	参加者懇話会・意見交換
14:55	0'05"	アンケート案内、閉会

奈良コンベンションセンターにて開催の本イベント【令和4年12月12日(月)～15日(木)】について
ご説明いたします。Q&Aコーナーもございますので、ご質問がおありでしたらお答えさせていただきます。

<第7回UNWTOガストロノミーツーリズム世界フォーラム>を開催します (UNWTO、奈良県主催)

日 程: 令和4年12月12日(月)～15日(木)

場 所: 奈良県コンベンションセンターなど

主なプログラム: 基調講演、事例発表、パネルディスカッション、
ワークショップ、エクスカーション、レセプション

詳細については8月末にHPで公表される予定です。
また、本フォーラムに合わせて観光庁、UNWTO駐日事務所が
令和4年12月12日(月)にサイドイベントを開催する予定です。



写真は第6回UNWTOガストロノミーツーリズム世界フォーラム(ベルギー ブルージュ)の様子です。

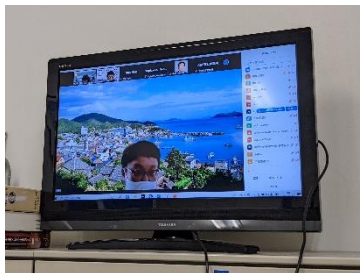
<APTEC/UNWTO駐日事務所開催のイベント報告>

第3回APTECウェビナーを開催しました

日 程: 令和4年4月26日(火)

場 所: オンライン

参加人数: 26人 (APTEC賛助会員: 地方自治体、
観光関連事業者・団体等)



「UNWTOベストツーリズム・ビレッジセミナー2022」を開催しました

日 程: 令和4年5月10日(水)

場 所: オンライン

参加人数: 自治体、観光関連企業等から
約100人

ベスト・ツーリズム・ビレッジとは？	
UNWTOによるベスト・ツーリズム・ビレッジという取組は、地域の景観、知識体系、生物・文化の多様性、ガストロノミーを含む地域の価値観や活動（農林業、畜産業、水産業）を評価し保護するため、観光の役割を向上させることを目指している。	
3つの 達成要素	UNWTOベスト・ツーリズム・ビレッジとしての認定
	UNWTOベスト・ツーリズム・ビレッジのアップグレード・プログラム
	UNWTOによるネットワーク形成
3つの 応募資格	人口15,000人以下の地域
	農業、林業、畜産業、漁業等を行っていること
	地域コミュニティの価値観やライフスタイルを保持するような取組を行っていること



奈良県と「持続可能な観光地づくり」説明会を開催しました

日 程: 令和4年6月9日(木)

場 所: 奈良県社会福祉総合センター
※動画後日配信併用

参加人数: 会場54人、オンライン103人
(自治体、観光関連事業者等)



※詳細記事はUNWTO駐日事務所のwebサイトをご覧ください。

【URL: <https://unwto-ap.org/>】

<APTEC/UNWTO駐日事務所の活動>

<令和4年2月16日>JNTO「UNWTOの取組に関するセミナー」にて講演を行いました



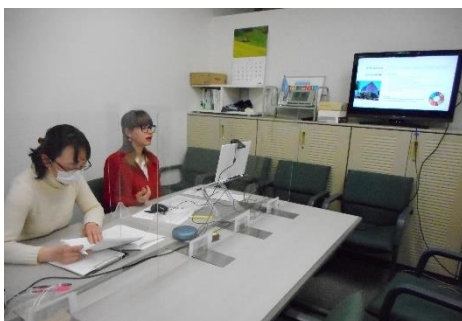
<令和4年3月10日>「中央日本観光復興戦略シンポジウム」にて基調講演を行いました



<令和4年3月11日>「観光の基本に立ち返る～2000年代の観光の総括とこれからの持続可能な観光のあり方～」セミナーに出席しました



<令和4年3月23日>「UNWTOキャリアウェビナー」において講演を行いました



＜令和4年5月11日＞「DMOよろず相談」(DMO担当者等の勉強会)において講義を行いました



＜令和4年5月12日＞「観光とSDGs-観光とまちの「調和」と連携を考える」において講義を行いました



＜令和4年5月13日＞大阪成蹊大学において講演を行いました



＜令和4年5月18日＞京都産業大学において講義しました



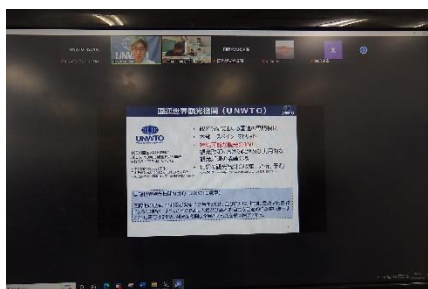
＜令和4年5月25日＞大阪成蹊大学において講演を行いました



＜令和4年6月6日＞同志社大学田中ゼミナールにおいて講演を行いました



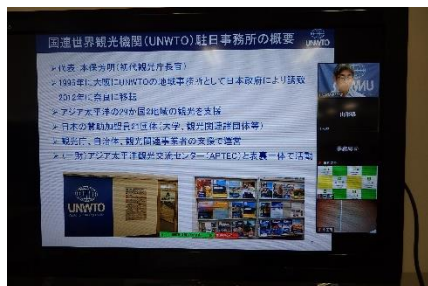
＜令和4年6月10日＞新潟大学堀籠ゼミナールで講演を行いました



＜令和4年6月14日＞第34回東アジア太平洋地域・南アジア地域合同委員会に出席しました



＜令和4年6月24日＞やまがたインバウンド協議会で講演を行いました



＜令和4年6月27日＞奈良県立大学において講演を行いました



＜令和4年6月30日＞京都外国語大学において講演を行いました



＜令和4年7月5日＞多摩大学において講演を行いました



＜令和4年7月11日＞立教大学で講演を行いました



＜令和4年7月20日＞四国運輸局で講演を行いました

